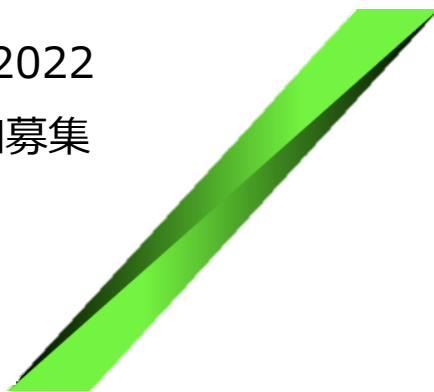


GX League 2022
賛同企業追加募集



【参考】FAQ

FAQ | ①GXリーグ基本構想賛同及びGXリーグ本格稼働までの活動に関する質問 (1/2)

	Q.	A.
1	基本構想に賛同した場合、自動的にGXリーグに参画することになるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ GXリーグは2023年度以降に本格稼働することを目指して議論を進めるものであり、改めて本格稼働前に参画に関するご連絡をします。(募集方法や要件は今後の検討事項となります。)
2	基本構想への賛同後に、企業の意思で賛同を取りやめることは可能か。あるいは、事務局から除名されることはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あくまで賛同行為であり、原則として、取りやめを想定しておりません。 ✓ 除名は、基本的にございませぬ。但し、暴力団排除条項*に該当する場合やGXリーグおよび基本構想の名誉を棄損する行為があったときは、事務局判断で賛同企業から除名致します。
3	基本構想へ賛同するにあたり企業に対する要件はあるか。(企業の規模や外国資本企業等)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本国内で事業活動されている企業であれば基本的に御座いません。外国資本企業におかれても日本国内で事業活動を実施されておりましたら賛同可能です。但し、暴力団排除条項*に該当する場合を除きます。 ✓ 業界・規模の大小・創業年に関わらず賛同頂けます。
4	業界団体の賛同・参画は可能か。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業界団体の参画は不可とさせていただきます。GXリーグは各業界で野心的且つ自主的な取り組みを行っている“個社”としての参画を目指しています。業界団体に所属の各企業様にも賛同の呼びかけを頂けますとありがたく存じます。
5	初期賛同企業、追加賛同企業とは何を指しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 初期賛同企業は2022年2月1日～3月31日に賛同いただいた企業です。 ✓ 追加賛同企業は2022年9月以降の追加募集にて賛同いただいた企業です。
6	基本構想への賛同を自社のWebページ等でのプレスリリースなど対外的な公開をすることは可能か。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 問題ございません。
7	基本構想へ賛同した場合、「基本構想に沿ったGXリーグを実装するために、GXリーグの詳細設計に係る議論、実証事業」に確実に参加できるか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 可能な限り、賛同頂いた企業の皆様のご要望に沿う形を目指しますが、より効果的な議論、実証事業とすべく、事務局にて議論の体制や実証事業の実施方法については検討いたします。
8	賛同企業申請フォーマットにおいて記載する代表者の役職に決まりはあるか。また押印や原本の提出は必要か。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 役職に定めはございませんが、代表取締役など一般的に企業を代表される方として頂ければと思います。また押印・原本の提出ともに不要であり、メールでのフォームの送信のみで問題ございません。
9	賛同企業申請フォーマットにおいて提出した情報はどこで公開されるか。また、提出した情報に変更があった場合はどうすべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経済産業省のWebページやGXリーグ設立準備事務局が作成するWebページで公開予定のほか、経済産業省が使用する資料として各種活用させて頂く場合やGXリーグの広報活動等において活用させて頂くがございます。 ✓ 修正が必要となった場合、速やかに事務局にご連絡お願いいたします。

FAQ | ①GXリーグ基本構想賛同及びGXリーグ本格稼働までの活動に関する質問 (2/2)

Q.	A.
10 「賛同」、「実証参加（取組への参加）」、「参画」の違いは。	<ul style="list-style-type: none">✓ 賛同：GXリーグ基本構想に賛同頂くことであり、賛同頂いたからといって実証参加や参画が必須になることもありません。✓ 実証参加：2022年度に実施するGXリーグに係る取組の実証へ参加頂くことです。「賛同」頂いた企業の中から有志の方に参加いただく想定です。✓ 参画：2023年度以降に本格稼働するGXリーグに参画頂くことです。参画の判断は、GXリーグ稼働前に行って頂くこととなりますが時期は未定です。
11 基本構想への賛同後、取組に参加するには何をすればよいか。	<ul style="list-style-type: none">✓ 賛同時に参加者を募集している取組については、賛同登録時にGXリーグ設立準備事務局よりご案内させていただきます。✓ また、賛同後募集をする取組については募集開始時にGXリーグ設立準備事務局よりご案内をさせていただきます。
12 追加賛同企業はどのような取組に参加することができるか。	<ul style="list-style-type: none">✓ 賛同企業としての登録後、参加者を募集する取組には参加することができます。
13 GXリーグのロゴは使用することができるか。また、画像データをもらうことはできるか。	<ul style="list-style-type: none">✓ GXリーグの使用は可能です。詳細な規定は別途事務局が定めているロゴの利用規定を参照ください。✓ 画像データについては、上述の利用規定と併せて事務局より送付いたします。
13 各賛同企業による議論の内容や具体的な取組はどのように公表されるのか。	<ul style="list-style-type: none">✓ 賛同企業向けには、GXリーグ設立準備事務局よりメール等でご案内いたします。✓ また、GXリーグ設立準備公式WEBサイトにて公表いたします。
14 賛同企業間や事務局との連絡はどのように行われているか。	<ul style="list-style-type: none">✓ メールに加え、賛同企業間や事務局とのコミュニケーションにはSlackを使用しています。また、資料の共有にはOneDriveを使用しています。SlackやOneDriveについてはGXリーグ設立準備事務局よりご案内いたします。✓ 但し、SlackやOneDriveの使用が難しい場合でも、取組に支障が出ないよう、GXリーグ設立準備事務局よりメールにて各種ご案内をいたします。

FAQ | ①GXリーグ基本構想賛同及びGXリーグ本格稼働までの活動に関する質問（説明会追加分）

	Q.	A.
1	追加賛同募集に関する説明会の資料はどこで取得できるか。	✓ 説明会で使用した資料は「賛同企業追加募集説明資料～募集要項～」であり、GXリーグ設立準備公式Webサイト（URL：https://gx-league.go.jp/topic/#documents）より取得できます。
2	追加賛同の応募期限はあるか。	✓ 賛同企業の募集期間は参画企業の募集開始までであり、その後は参画企業の募集となるため、賛同企業の募集はしない予定です。
3	GXリーグ本格稼働時の参画にあたり、賛同企業となっていることが必須条件となるか。	✓ 賛同企業であることを参画要件とすることは想定しておりません。
4	賛同企業になることで、GXリーグ本格稼働時の参画においてメリットはありますか。	✓ 参画募集時に賛同企業か否かによる区別は行いません。但し、賛同企業は本格稼働時のルール設計に対して意見提出等を行うことができます。
5	賛同フォーマットにある自由記述欄を記入しないとデメリットが発生するか。	✓ デメリットは発生しません。但し、自由記述欄は、選択式ではなく、自由記述が可能とのことで、記載可能な項目については記載をしてください。
6	賛同企業数の上限はあるか。今回、賛同数を増やす理由は何ですか。	✓ 賛同企業数には上限を設定はしておりません。前回の賛同企業締め切り後にも賛同を希望する企業が多く、政策的にもより多くの企業に賛同いただき、取組に参加いただくことが有意義と考え、追加での募集を行っております。
7	賛同企業が負う義務はあるか。	✓ 法制度に基づく義務はございません。但し、GXリーグで定めた運営規程などには遵守いただく必要があります。なお、賛同及び参画にあたっての会費の徴収は現在のところ検討しておりません。
8	賛同・参画企業は3つの取組の場に必ず参加しないといけないか。	✓ ①未来社会像創造及び②市場創造のためのルール形成への参加は必須ではございません。但し、GXリーグ本格稼働後、③自主的な排出量取引については全ての参画企業の参加を想定しております。
9	GXリーグ基本構想への賛同、あるいはGXリーグへの参画が政府補助金の審査等で加点要素になることはあるか。	✓ 現時点で想定しているものではありませんが、今後、他の政策対応との連携も検討していきます。
10	持株会社（グループ、ホールディングス）と傘下企業でそれぞれの賛同は可能ですか。	✓ それぞれでの賛同は可能です。また、持株会社が賛同し、その傘下の企業が取組に参加することも可能です。但し、賛同企業1社あたりの参加人数の上限を定める場合がある点についてご了承ください。

FAQ | ②基本構想で示すGXリーグの方向性に関する質問

	Q.	A.
1	GXリーグ参画時に定めるとされている排出削減目標は1.5℃シナリオとの整合性等、審査されるのか。	✓ 政府として各企業の削減目標の妥当性を審査することはありません。各企業が自主的に2050年カーボンニュートラルと整合的であるとする削減目標を設定頂くことを想定しています。
2	GXリーグに賛同・参画しないと今後カーボンクレジットの取引に参加できなくなるのか。	✓ GXリーグ内で構想している参加企業の自主的な排出量取引については、GXリーグ参画企業が対象となります。一方、既存の外部クレジットはGXリーグ参加有無に関わらず利用可能です。
3	直接排出だけの目標を定めることで十分か。もしくは直接 + 間接の合算でも十分か。	✓ 本格稼働後の排出量取引においては、。ただし、排出量取引は国内且つ直接排出を対象としているため、こちらは個別に目標設定を頂く必要があります。
4	国内の直接排出は自主的な排出量取引を行うとのことだが、各企業の目標設定に基準は設けないのか。	✓ 各企業が自主的に設定する目標という意味においては、政府として基準を設けることとはございません。一方、自主的な排出量取引に用いることができる超過削減分の創出という意味においては、一定の基準を設けることを想定しています。
5	GXリーグに参画した企業内にて行われる排出量取引は毎年行われるのか。	✓ 毎年の取引ではなく、2030年及びそれ以前の間地点での取引を想定しております。具体的な頻度などは今後の検討対象となります。

FAQ | ②基本構想で示すGXリーグの方向性に関する質問（説明会追加分）

	Q.	A.
1	目標に達しなかった場合に、ペナルティーなどはあるか。	✓ 自主的な排出量取引においては、設定した目標に達成しなかった場合には、義務ではないですが、不足分を他社が創出した超過削減枠またはJ-クレジット等の購入をいただくことを想定しております。但し、目標未達企業のクレジット等購入有無については開示をすることを想定しております。
2	GXリーグ内で取引される予定のクレジットは何ですか。	✓ 自主的な排出量取引制度の制度案については今後検討予定ですが、目標未達成時に購入するクレジットについてはJ-クレジットやJCMを想定していますが、その他のクレジットを対象とすることも含めて、詳細は今後検討いたします。

FAQ | ③ ②市場ルール形成の場に関する質問

	Q.	A.
テーマ・アジェンダ	GX経営促進WGのテーマはどのような観点から選定・決定したのか。	✓ 賛同企業からの実施希望事項を踏まえつつ、国際的な発信も見据えて産業横断で取組める内容であり、かつ今後の投資促進にもつながりうる領域として同テーマを選定した。
	今年度は他のテーマでもWGが設置されるか。	✓ 事務局より、他に1～2つ程度設置する予定です。
	賛同企業提案型WGのテーマとして、事務局よりしめされているテーマ候補案も、提案テーマとして良いか。	✓ 提案いただいても構わない。事務局が設置するWGテーマとの重複が想定される場合には、提案企業と調整させていただく想定。
	最大いくつのWGが設置される想定か。	✓ 賛同企業からの提案については、数に制限無く、広く募集したい。
	WG実施に当たり、各回でのアジェンダはどのように設定するのか。	✓ 本年度はひな形づくりという観点から、事務局とリーダー間で協議して各回アジェンダを設定する。
参加者	参加者は事務局のほかにはメンバーに選定された賛同企業のみか。	✓ オブザーバーとして、関係省庁や、事務局を構成する学識有識者が参画する可能性がある。
	事務局からどの程度のサポートを得られるか？	✓ 今年度は議論の雛形を作る観点から、賛同企業提案型WGにおいても事務局も積極的に関与予定。具体的な役割分担については、メンバー決定後、リーダー企業を中心に調整していく。
成果物の取扱い	WGで合意したとしても、全賛同企業の承認を得なければ、成果物の公表・公開はできないのか。	<p>✓ 具体的なアウトプット次第だが、必ずしも全賛同企業の合意を必要とするわけではない。</p> <p>✓ アウトプットの公開範囲については、別途WGの運営規程で詳細を定めるが、WGに参加していない賛同企業への意見照会も想定。</p>
GXリーグ内他取組みとの関係	「①未来社会像対話」と市場創造のためのルール形成WGはどのような関係にあるのか。	<p>✓ 両WGは並行して検討を行うもので、検討プロセスや成果が直接影響を及ぼしあうものではない。</p> <p>✓ 「①未来社会像対話WG」は中長期視点での取組みであるが、明確かつ早期に完了する検討ではない。足元での取組みも検討スコープに含めていく意図でルールメイキングWGを設定している。</p>
	「③自主的な排出量取引」と市場創造のためのルール形成WGはどのような関係にあるのか。	✓ 「③自主的な排出量取引」もGXリーグ内での実施を想定しているが、ルールメイキングWGとは別途取組んでいく方針。
	「GXスタジオ」と市場創造のためのルール形成WGはどのような関係にあるのか。	✓ GXスタジオでは、キックオフガイドp.17で示した案のうち、今年度WGで取り扱わないテーマに関する対話や仲間づくりを目的とした取組を実施することを予定。

FAQ | ③ ②市場ルール形成の場に関する質問（説明会追加分）

	Q.	A.
テーマ・アジェンダ	対象テーマは日本発のものであることが前提となるか。海外のルールや知見を活用することも可能ですか。	✓ 必ずしも日本発のルール設計でなければならないというわけではございません。すでに海外で検討されているもののうち、カバーされていない点等を議論いただき、海外に発信すること等も想定しています。
成果物の取扱い	WGでの合意形成はどのようになるか。	✓ WGごとに運営規程を定め、その中で合意形成についても規定を定めることとしております。
	WGでの成果物は一般に公表されるか。	✓ 市場創造に向けたルール形成の場を中心に、最終的なアウトプットは海外への発信を含めて想定しており、一般に公開する予定です。
その他	GXリーグにおける制度設計にあたり、他省庁との、連携・議論はなされるか。	✓ 制度設計にあたっては関係省庁とも連携しながら進めていきます。